

2019年1月8日

京王百草園で1月下旬ごろまで

**毎年好評の「ロウバイ」の花が見ごろです！**

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、社長：紅村 康）が運営・管理する日本庭園「京王百草園」（東京都日野市百草560）では、毎年ご好評いただいている約60本のロウバイが開花、見ごろを迎え甘い香りを漂わせています。

蠟細工のようなつややかな花びら（1.5～2cm）は、冬の青空の下で一層映えています。その他、紫や白色の花が特徴のカンザキアヤメや濃紅色の早咲き梅・ヤエカンコウも少しずつ開花を始め、上品な香りが特徴のニホンスイセンは見ごろを迎えています。


**《ロウバイ》**

**《カンザキアヤメ》**

**《ニホンスイセン》**

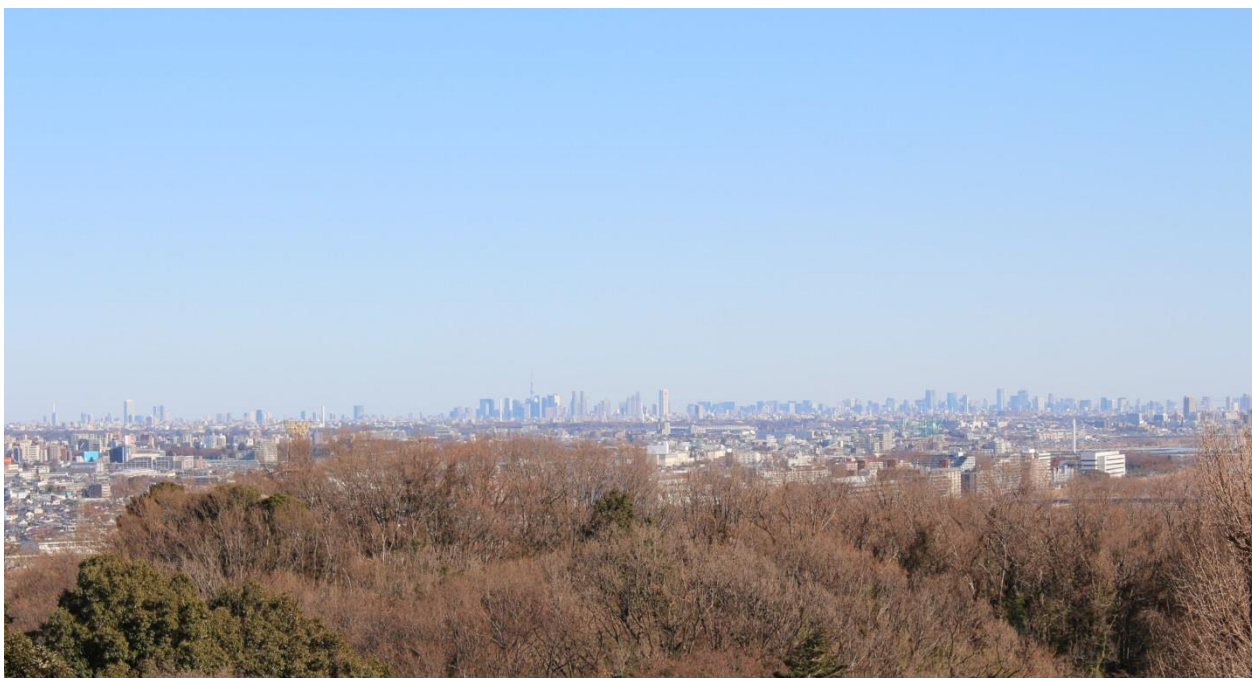
**《ヤエカンコウ》**

※京王百草園にて1月7日（月）撮影

※開花状況については、京王百草園にお問い合わせください。

## 【参 考 1】京王百草園について

1. 開園時間 9:00～17:00
2. 交 通 京王線百草園駅下車徒歩10分、または聖蹟桜ヶ丘駅・高幡不動駅からタクシー10分  
※京王線新宿駅から約35分（特急・準特急利用、府中駅乗り換え）  
※駐車場がありませんので、ご来園の際は電車をご利用ください。  
※ペットの入園はお断りしています。  
※百草園駅から当園までの間、一部急坂の箇所があります。
3. 入 園 料 大人300円、小人100円
4. 定 休 日 水曜日（祝日の場合は翌日）
5. お客様のお問い合わせ先  
京王百草園 TEL. 042-591-3478（9:00～17:00）



《見晴台からの景色》

※1月7日（月）撮影

※晴れている日は東京スカイツリーや東京都庁も見ることができます

## 【参 考 2】ロウバイについて

ロウバイ科の落葉低木で、高さは2～5m、中国が原産。日本には後水尾天皇の時代（在位1611～1629年）に渡来したといわれる。和名の由来は漢名「蠟梅」の音読みによる。蠟梅の名は、花卉の色が蜜蠟の色に似ているのでつけられた。他に臘月（ろうげつ）、すなわち陰暦の12月に咲く、梅に似た花の意だという異説もある。

以 上